

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年9月17日(2015.9.17)

【公表番号】特表2014-521788(P2014-521788A)

【公表日】平成26年8月28日(2014.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2014-046

【出願番号】特願2014-523056(P2014-523056)

【国際特許分類】

C 08 G 69/32 (2006.01)

【F I】

C 08 G 69/32

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月27日(2015.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2 - (4 - アミノフェニル) - 5 (6) アミノベンズイミダゾール (DAPBI)、p - フェニレンジアミン (PPD)、およびテレフタロイルジクロライド (TCI) の残基を含むポリマーであって、多分散指数が1 ~ 2 であるポリマー。

【請求項2】

2 - (4 - アミノフェニル) - 5 (6) アミノベンズイミダゾール (DAPBI)、p - フェニレンジアミン (PPD)、およびテレフタロイルジクロライド (TCI) の残基を含むポリマーであって、オリゴマー含有率が1 . 0 重量パーセント以下であるポリマー。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0068

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0068】

実施例6

実施例1および実施例2のポリマーを個々に、(1)硫酸含有溶媒、または(2)N - メチル - 2 - ピロリドン (NMP) もしくはジメチルアセトアミド (DMAC) と無機塩とを含有する溶媒、のいずれかと混合する。ポリマーが溶媒に十分に溶解し、纖維の紡糸に好適な溶液が形成されるまで、必要に応じて冷却して温度を制御しながら、混合物を攪拌する。溶液を紡糸口金から押し出し、エアギャップ紡糸し、凝固させてフィラメントにし、それを洗浄し、乾燥し、ボビンに巻き取る。

次に、本発明の好ましい態様を示す。

1 . 2 - (4 - アミノフェニル) - 5 (6) アミノベンズイミダゾール (DAPBI)、p - フェニレンジアミン (PPD)、およびテレフタロイルジクロライド (TCI) の残基を含むポリマーであって、多分散指数が1 ~ 2 であるポリマー。

2 . 多分散指数が1 ~ 1 . 8 である、上記1に記載のポリマー。

3 . 多分散指数が1 ~ 1 . 5 である、上記2に記載のポリマー。

4 . 2 - (4 - アミノフェニル) - 5 (6) アミノベンズイミダゾール (DAPBI)

、p-フェニレンジアミン(PPD)、およびテレフタロイルジクロライド(TCL)の残基を含むポリマーであって、オリゴマー含有率が1.0重量パーセント以下であるポリマー。

5. オリゴマー含有率が0.75重量パーセント以下である、上記4に記載のポリマー。

6. オリゴマー含有率が0.5重量パーセント以下である、上記5に記載のポリマー。